



BEETHOVEN

Piano Sonatas

Monumental

YUSUKE KIKUCHI

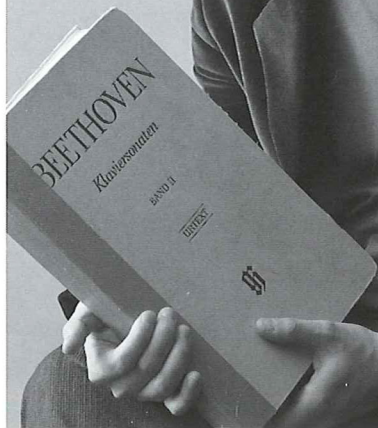


SUPER AUDIO CD

HIGH QUALITY

HQ

Super Audio CD



ベートーヴェン

LUDWIG VAN BEETHOVEN (1770-1827)

DISC 1

ピアノ・ソナタ 第16番 卜長調 作品31-1

Piano Sonata No.16 in G major Op.31-1

- | | | |
|---|---------------------|------|
| 1 | 1 Allegro Vivace | 5:58 |
| 2 | 2 Adagio Grazioso | 9:37 |
| 3 | 3 Rondo. Allegretto | 5:58 |

ピアノ・ソナタ 第17番 二短調 作品31-2「テンペスト」

Piano Sonata No.17 in D minor Op.31-2 "The Tempest"

- | | | |
|---|-------------------|------|
| 4 | 1 Largo - Allegro | 8:07 |
| 5 | 2 Adagio | 7:25 |
| 6 | 3 Allegretto | 6:04 |

ピアノ・ソナタ 第18番 変ホ長調 作品31-3「狩」

Piano Sonata No.18 in E-flat major Op.31-3 "Die Jagd"

- | | | |
|----|---------------------------------|------|
| 7 | 1 Allegro | 7:39 |
| 8 | 2 Scherzo. Allegretto vivace | 4:51 |
| 9 | 3 Menuetto. Moderato e grazioso | 3:50 |
| 10 | 4 Presto con fuoco | 4:20 |

ピアノ・ソナタ 第22番 へ長調 作品54

Piano Sonata No.22 in F major Op.54

- | | | |
|----|--------------------------|------|
| 11 | 1 In tempo d'un Menuetto | 4:53 |
| 12 | 2 Allegretto | 4:57 |

菊地 裕介 (ピアノ)

YUSUKE KIKUCHI (piano)

DISC 2

ピアノ・ソナタ 第21番 八長調 作品53「ワルトシュタイン」

Piano Sonata No.21 in C major Op.53 "Waldstein"

- | | | |
|---|--|------|
| 1 | 1 Allegro con brio | 9:43 |
| 2 | 2 Introduzione. Adagio molto | 3:29 |
| 3 | 3 Rondo. Allegretto moderato - Prestissimo | 8:43 |

ピアノ・ソナタ 第23番 へ短調 作品57「熱情」

Piano Sonata No.23 in F minor Op.57 "Appassionata"

- | | | |
|---|-------------------------|------|
| 4 | 1 Allegro assai | 9:19 |
| 5 | 2 Andante con moto | 5:36 |
| 6 | 3 Allegro ma non troppo | 7:20 |

ピアノ・ソナタ 第24番 嬰へ長調 作品78「テレーゼ」

Piano Sonata No.24 in F-sharp major Op.78 "For Theres"

- | | | |
|---|--|------|
| 7 | 1 Adagio cantabile - Allegro ma non troppo | 6:46 |
| 8 | 2 Allegro vivace | 2:46 |

ピアノ・ソナタ 第25番 卜長調 作品79「かっこう」

Piano Sonata No.25 in G major Op.79 "Cuckoo"

- | | | |
|----|-----------------------|------|
| 9 | 1 Presto alla tedesca | 4:26 |
| 10 | 2 Andante | 3:38 |
| 11 | 3 Vivace | 1:45 |

ピアノ・ソナタ 第26番 変ホ長調 作品81a「告別」

Piano Sonata No.26 in E-flat major Op.81a "Les Adieux"

- | | | |
|----|----------------------|------|
| 12 | 1 Adagio - Allegro | 6:57 |
| 13 | 2 Andante espressivo | 3:24 |
| 14 | 3 Vivacissimamente | 5:36 |

2010年1月13-15日 Disc-2 1-6、3月13-15日 Disc-1 1-10、Disc-2 12-14、4月13-15日 Disc-1 11-12、Disc-2 7-11

富山・北アルプス文化センターにて収録

Recording Date: 13-15 Jan. Disc-2 1-6、13-15 Mar. Disc-1 1-10、Disc-2 12-14、13-15 Apr. Disc-1 11-12、Disc-2 7-11、2010

Recording Location: Northern Alpine Culture Center, Toyama

Mixed and Mastered at EXTON Studio, Yokohama

TOTAL TIME : DISC 1: 73:57 DISC 2: 79:50

僕のベートーヴェン

菊地 裕介

ベートーヴェンは、僕にとってはつねに音楽の原点でした。

いうまでもなくベートーヴェンは、ピアノのヴィルトゥオーゾとしては最初期の人物であり、元祖コンポーザー・ピアニストといえます。僕もピアニストの端くれとしてももちろん深く尊敬していますし、ひとりの人間としても、苦悩を突き抜けて歓喜へ至る、という哲学には常に励まされてきました。最近日本に帰国して逆カルチャーショックを受けたときにも、無理解に苦しみながら人類を愛し続けた彼の音楽がどれほど人生の支えになったかは、まさに語りつくせぬものがあります。

恩師、加藤伸佳先生は「まずはベートーヴェン」とのお考えをお持ちでしたから、子供時代からベートーヴェンとの親しいお付き合いが始まりました。初めて取り組んだ室内楽もベートーヴェンのトリオやチェロ・ソナタといった作品でしたし、17歳のときに生まれて初めてオー

ケストラと弾いたコンチェルトもベートーヴェンの第4番でした。そしてパリに留学し、ルヴィエ先生との勉強が始まった時には、毎週新しいソナタを譜読みしては持って行ったものでした。以来現在に至るまで、ベートーヴェンから離れたことはほとんどなく、演奏会でも常に大切なレパートリーとして弾き続けてきました。

長老主義が根強い日本では、デビューしたてのピアニストがベートーヴェン・ソナタ集など大それたことを、とのお叱りを受けてしまうかもしれせん。現在、実際に取り掛かってみて、それがとてつもなく高い山であり、自分は未熟であると改めて気付かされているのも事実です。納得がいかない部分はいまだあちこちにあり、また年月がたってから再び取り組みたい、と感じています。しかし、今回収録した作品は全て、ベートーヴェンが30代の時に書かれたものなのです。つまり、今年33歳になる自分とほぼ同年輩の作曲家の手によるものです。名実ともに巨匠の作品、とされる「熱情」ソナタが、実は30代のちょうど半ばである35歳のときに書かれたという事実に誠に驚くべきものがあります。

ならば今にしかできないこともあるのではないか…？ 30代を走り始めた今、そんなことを考えながらベートーヴェンとあらためて真剣に向き合ってみたくて思っていました。実力、人物ともに僕が日本でもっとも敬愛するピアニストである清水和音さんも、日頃からベートーヴェンへの愛情を惜しみなく語っていらっしゃいますが、その和音さんが何気なく紹介して下さったオクタヴィア・レコードの江崎友淑さんが、このタイミングで僕のベートーヴェン録音への意欲を評価し、実現につなげて下さったということにはなんだか神の思召しを感じずには居られません。

そんなわけで始まった今回の録音ではありますが、今にしかできないベートーヴェンがあるのと同様、40代には40代の、50代には50代の、そして、作曲家が生涯を閉じてしまった56歳よりも先のベートーヴェンも、きっと存在するに違いありません。この先もずっと、生涯にわたって取り組んでいくつもりです。

最後になりましたが、この企画にご理解とご協力を頂いたオクタヴィア・レコード、北アルプ

ス文化センターほか、全てのスタッフの皆さま、そして、この録音を手にとってくださったリスナーの皆さまに厚く御礼を申し上げます。

(きくち・ゆうすけ)

アルバムによせて

真嶋 雄大

何というドラマティックなベートーヴェンだろう。「テンペスト」第1楽章では、明晰な造形でありながら燃え盛るようにエネルギッシュな情熱が迸る。主題は容姿を変えながら千紫万紅の彩りを漂わせ、限らない生命力を携えながらひとつとして同じ装いを纏わない。続く緩徐楽章では、陶然たる安堵の表情の中にも不安な情感を覗かせ、そしてアレグレットの終楽章では、絶え間ない洞察力を持って自らの精神性を深く掘り下げていくと同時に、耽美的ともいえるロマンを混えて神韻縈るたる展開を見せる。

滾るようなパッションが横溢する「熱情」や心浮き立つような疾走感に溢れた「ワルトシュタイン」、また極めて明快なアプローチで構築した「第22番」など、このディスクに収められたすべての楽曲に対し、菊地裕介は実に斬新かつ真摯な姿勢で対峙している。

もとより菊地のアナリーゼには定評がある。正確な譜読みから導き出された揺るぎない構成、極めて滑舌のよいピアノイズム、精妙で蠱惑的なテンポ変化、グラデーションのように変幻する色彩、

壮大なスケールのダイナミズム、そして何より聴くものを瞬時にして自らの世界に引き込んでしまう類稀な魅力は天性のものだろう。

その菊地裕介が、ついにベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲録音に着手した。ベートーヴェンが創作した32曲は、これまで存在したすべてのピアノ・ソナタの中でも金字塔として燦然と聳えている。それは後に続く作曲家たちに強烈な影響を与えたばかりではなく、常に前作の様式を見直し、新たな方向性に挑戦するように創作されている。ゆえに各々のソナタが独自の多様性に富み、しかも年代を追って複雑化する傾向にあるのだ。

今回録音されたのは、第16番から第26番までというベートーヴェンの創作中期に位置するソナタである。それぞれが特別な輝きを放っているのみならず、凝縮した美と深い精神性、そして限らない生命力が与えられている。それはピアノの発展も視野に入れながら、楽器としての可能性の追求や独創的な試みを積み重ねた結晶でもある。

そういった要素を俯瞰しつつ、菊地裕介がこれまでの人生の総てを注ぎ込んだ、ベートーヴェンの核心に迫る鮮烈なアルバムが仕上がった。

曲目解説

真嶋 雄大

ピアノ・ソナタ 第16番 長調 Op.31-1

ベートーヴェンは難聴による絶望に打ちひしがれ、1802年10月に2人の弟に宛てた遺書をしたためた。有名な「ハイリゲンシュタットの遺書」である。しかし同年春から夏にかけてのベートーヴェンの創作意欲は旺盛で、「交響曲第2番」や最初のヴァイオリン・ソナタ3曲などが誕生している。時期的にも、ベートーヴェンの「ドラマ的ソナタ様式」の入り口にあたり、このピアノ・ソナタもその年の春に書かれたと言われている。

このソナタは、3曲まとめられた「Op.31」の第1曲で、ソナタ形式の内容に大きな変革が見られる。即ち踏襲された古典的ソナタ形式の過程に、取って無関係の障害的要素を織り込み、その不調和感から生じるドラマティックな効果など、大胆な試みが随所に織り込まれている。

ピアノ・ソナタ 第17番 二短調 Op.31-2

「テンペスト」

弟子のシントラーがこの作品についてベートーヴェンに尋ねると、「シェイクスピアの戯曲『嵐（テンペスト）』に触れよ」と答えたと言われるが、信憑性は薄い。

常に革新を目指したベートーヴェンは、この作品においてもソナタ形式に斬新な試みを探り入れている。それは例えば第1楽章での緊張と弛緩の屹立であり、激情が漲り、疾走するアレグロの中での、しばしばその流れを堰き止めるようなラルゴやアダージョであるが、その壮大なコントラストは情感をさらにドラマティックに高める効果を生んでいる。また大胆な楽想や多彩な転調も特徴的で、新しいものを生み出そうとするベートーヴェンの強烈な意志が明確に現れている。

《テンペスト》の名で親しまれているこの作品は二短調で書かれており、これは「嬰ハ短調（第14番『月光』）」や「嬰ヘ長調（第24番）」と並んでベートーヴェンのピアノ・ソナタ32曲の中では唯一である。

ピアノ・ソナタ 第18番 変ホ長調 Op.31-3「狩」

Op.31をなす3曲の中で、唯一4楽章形式を採っている。ここでもベートーヴェンは、伝統的な手法から逸脱し、斬新な創意の閃きを示している。つまり全4楽章に緩徐楽章を用いず、第2楽章にはスケルツォを、第3楽章にはメヌエットを置いており、アレグロスケルツォーメヌエットープレストという構成は、後年の「交響曲第8番」との類似性をも見せる。全体に明るい曲調が支配しているが、ピアノスティックな輝きと均整の取れた造形が見事なバランスで共存し、また

Op.31 に共通する障害的要素や突然のテンポの変化も十二分に活用されており、ドラマティックな効果を増幅させている。

ピアノ・ソナタ 第21番 八長調 Op.53

「ワルトシュタイン」

「ハイリゲンシュタットの遺書」を記したことで自らの気持ちに一区切りをつけたのだろう、ベートーヴェンは逆にそれを契機として自らを奮い立たせ、再び創作への情熱を取り戻していった。この「ワルトシュタイン」は、その直後の1803年から翌年に書かれた作品であり、「第23番(熱情)」とともに、飛躍的な発展を遂げる中期ドラマティック期の主軸をなす傑作である。

ベートーヴェンの才能を見抜き、少年の頃から支援していたのが、ワルトシュタイン伯爵である。伯爵はピアノを演奏し、作曲を嗜むなど音楽愛好家であり、当時クラヴィコードやチェンバロしか弾いたことなかったベートーヴェンに、最新式のフォルテピアノを贈ったことでも知られている。

そのワルトシュタイン伯爵に献呈されたこの作品も、フランスのピアノ製作者エラールから革新的な機構を持ったピアノが贈られ、その可能性を最大に生かした斬新な手法を大胆に取り入れたからこそ、この巨大なソナタの完成に結び付いたとも伝えられている。

なお、当初作曲した第2楽章は長大過ぎるという友人の忠告を受け、ベートーヴェンは第2楽章をそっくり差し替えた。前作は「アンダンテ・ファヴォリ」として出版され、根強い人気を誇っている。

ピアノ・ソナタ 第22番 へ長調 Op.54

ともにへ長調で書かれた2楽章で構成される不思議なソナタの成立は、未だによくわかっていない。実験的な要素が多分に含まれてはいるが、1806年に出版されたとき、表紙に「第51番ソナタ」と記されたことも謎で、現在も論議を呼んでいる。ベートーヴェンはこの作品で、再びソナタ形式を回避して自由な、しかしある意味地味な風合いで創作している。献呈者はいない。

ピアノ・ソナタ 第23番 へ短調 Op.57

「熱情」

ベートーヴェンによるものではなく、ハンブルクのある出版社によって1838年に付けられたタイトルではあるが、的確に内容を表現している。「交響曲第5番」や「ピアノ協奏曲第4番」などに共通する「運命の動機」に終始支配される圧倒的なパトス、暴風雨を伴う前後の楽章、その間に横たわる束の間の安らぎ、その音楽的造形の見事さ、緻密に計算された感情の吐露は、壮

大なスケールと著しい感興を生み出すにはいられない。

パリ音楽院所蔵の自筆譜には、水に濡れたシミ跡が残っている。これはベートーヴェンが1806年秋、グレーツにあるリヒノウスキー侯邸を訪ねた帰途、雨に濡れたためとされている。ただ終楽章に多くの改訂、削除跡などがあることから、既に1804年から05年にかけて一旦完成した作品を持ち歩き、常に推敲を重ねていたと推定されている。弟子のチェルニーによると、ベートーヴェンはこの作品を、創作時点ではそれまでの自身最大のソナタだと見做していたという。ブルンスヴィック伯爵に献呈された。

ピアノ・ソナタ 第24番 嬰へ長調 Op.78

「テレゼ」

ナポレオン軍のウィーン侵攻があった1809年に作曲されている。2楽章形式で小規模ではあるが、前年には「交響曲第5番」と「同第6番」、この年には「ピアノ協奏曲第5番」も書き上げられて、ベートーヴェンの創作は著しく充実していた。だからこそこのソナタも、ピアノによる表現力を追求した優雅で可憐な作品と捉えるべきであろう。徹底的な動機操作から離れたことや、嬰へ長調という調性も極めて特徴的であるが、かつて不滅の恋人ではと推測された伯爵令嬢テレゼ

・ブルンスヴィックに献呈されたため、この愛称がある。

ピアノ・ソナタ 第25番 ト長調 Op.79

「かっこう」

Op.78と同様、1809年に作曲された。自筆譜には「ソナタ」とあるものの、出版社に送ったベートーヴェンの書簡には「ト長調の方は、ソナチネとしてほしい」と書かれていた。一方で、このソナタでは古典的な形式に立ち戻っていることにも注目したい。第1楽章での左手の音型は、かっこうの鳴き声に似ていることから、「かっこうソナタ」の愛称がある。味わい深い風趣とユーモアに彩られた作品である。

ピアノ・ソナタ 第26番 変ホ長調 Op.81a

「告別」

1809年、ナポレオンによる第二次ウィーン包囲によって、皇帝をはじめ、多くの貴族は戦禍を逃れて疎開した。ベートーヴェンの最大の後援者ルドルフ大公もその例に漏れず、ウィーンを離れていった。それを機に、ベートーヴェンは大公にソナタ1曲を献呈したのである。各楽章には、「告別」、「不在」、「再会」と標題されているが、ベートーヴェン自身がピアノ・ソナタにタイトルを付けたのは、他に「第8番(悲愴)」があるのみ

である。

「熱情」や「ワルトシュタイン」などの中期の傑作から後期の巨大なソナタに至る時期の作品ではあるが、決して過渡期的な存在ではなく、新たな主題法を導入するなど常に前作に満足しないベートーヴェンの基本的な創作姿勢が垣間見える。

(まじま・ゆうだい)



菊地 裕介 プロフィール

1977年東京生まれ。1994年日本音楽コンクールで第2位。高校卒業と同時に渡仏し、ノリ国立高等音楽院に入学。高等課程を経てピアノ研究科を修了したほか、5つの一等賞を得てピアノの他に歌曲伴奏、作曲書法の高等ディプロマを得ている。2003年からはハノーファー音楽大学でさらに研鑽を積み、2009年ドイツ国家演奏家資格を取得。

加藤伸佳、ジャック・ルヴィエ、アリエ・ヴァルディの各氏に師事、マリア・カナルス、ポルト、ジュネーブ、ブーランク、ベートーヴェンなど、数多くの国際コンクールに優勝・入賞する。

2007年に帰国して以来、「菊地裕介メシアン生誕100年プロジェクト」など精力的な活動を展開。CDデビューはコロムビア(DENON)より「イマージュ・フランセーズ」、2枚目のアルバム「BACH」に収録された、バッハ「無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番、ピアノ独奏版」は、ブゾニ編の「シャコンヌ」に加えた独自の編曲により全曲を完成させたもので、全音楽譜出版社より自身の解説と校訂により出版され、同盤はレコード芸術誌特選となるなど、注目をもって迎えられている。ソロ・室内楽の演奏活動の傍ら、現在は東京藝術大学、東京音楽大学の各校にて、後進の指導に当たっている。

SACD<Super Audio CD>について



SACDはCDの開発者であるソニーとフィリップスによって共同開発された新世代のオーディオディスクです。音楽の感動を余すことなく伝えるために録音周波数帯域を100kHz近くまで拡張し、ダイナミックレンジもまた120dB以上(可聴帯域内)と大幅に広がっているため、自然界に存在する音のほとんど全てを捉えることが可能となりました。SACDでは、従来のPCM方式とは異なったDSD(Direct Stream Digital)と呼ばれる信号記録方式が採用されており、音楽信号のほとんど全てはもちろんのこと、演奏会場の空気感までも忠実かつ高い鮮度で再現することが可能です。

DSD<Direct Stream Digital>について



DSD方式では、アナログ音楽信号をデルタシグマ変調器で高速の1ビットのデジタル信号に変換し、この膨大な数の1ビット信号をそのまま記録します。つまり従来のCDなどに用いられるPCM方式の64倍もの繰りかたで信号の波、パルスの疎密波として記録している方法です。それ、または、あたかも空気の疎密波である音楽信号波形をそのまま写し取ったような記録方法ともいえるでしょう。このアナログ信号に近いデジタル記録方式が音楽の空気感までも伝えることができる秘密なのです。

本ディスクについて



本ディスクは、マスターディスクの音をそのままにディスクに収める為、2chスーパーオーディオCD(非圧縮SACD/ハイブリッド・ディスク)を採用しております。これまでのSACD用の音声信号は、2chと5chという膨大な情報量を1枚のディスクに収めるため、DST(ダイレクト・ストリーム・トランスファー:SACD用に開発されたロスレス音声圧縮方式)によって圧縮、再生時にプレーヤーによって解凍されてお客様のお客様の耳に届けられました。本ディスクはその圧縮解凍作業を省略することによって再生時のプレーヤーへの負担を削減。ついにSACDが持つキャパシティを十分に引き出す事に成功しております。これまで以上のSACDによる最高音質をお楽しみ下さい。

EXTON STUDIO



本ディスクは、数々のSACD、DVD-Audioを手がけてきたオクタヴィア・レコードが考える理想の制作環境を形にした「EXTON Studio」で制作され、最良の音質及び音場感をお楽しみ頂けるものとなっています。

EXTON Studioの特徴

- サラウンドMIXでは定番モニターのGENELEC 1031Aを壁に埋め込んだ形で用いた、八角構造のスタジオで、2chはもとよりマルチ・サラウンドに特化した音響特性を持つ制作環境。
- メインのPyramix SystemによるDSD48ch、PCM24ch(96kHz/24bit)の編集、ミキシング、マスタリングに対応したハイエンド・フルデジタル環境。
- 近年、欧州全域のスタジオ施工技術において高い評価を持つMediatronik社の設計によるスタジオデザインで、その素材の全てを欧州より直輸入。

● and are Trademarks.

● DSDの音はSACD対応プレーヤーでお楽しみください。尚、本品はCDレイヤーをあわせ持った二層構造の「ハイブリッド・ディスク」になっておりますので、通常のCDプレーヤーの多くのもでもCD品質の音でお楽しみいただくことができます。また、DVDプレーヤーの場合は、CD対応となっている機種でもからないものがありますので、あらかじめ御了承ください。詳しい再生上の取り扱いについては、ご使用になるプレーヤーなどの取り扱い説明書をご覧ください。

<取り扱い上のご注意> ●ディスクは両面共、指紋、汚れ、キズ等をつけないように取り扱って下さい。 ●ディスクが汚れたときは、メガネふきのような柔らかい布で内周から外周に向かって放射状に軽くふき取って下さい。レコード用クリーナーや溶剤等は使用しないで下さい。 ●ディスクは両面共、鉛筆、ボールペン、油性ペン等で文字や絵を書いたり、シール等を貼付しないで下さい。 ●ひび割れや変形、又は接着剤等で補修したディスクは、危険ですら絶対に使用しないで下さい。 ●保管上のご注意 ●直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所には保管しないで下さい。 ●ご使用後、ディスクは必ずプレーヤーから取り出し、専用ケースに入れて保管して下さい。 ●ディスクの上に乗る物を置いたり、落としたりすると、ケースが破損し、ケガをすることがあります。

BEEETHOVEN

Piano Sonatas

Monumental

YUSUKE KIKUCHI

Recording Date: 13-15 Jan. Disc-2 [1]-[6], 13-15 Mar. Disc-1 [1]-[10], Disc-2 [2]-[13]

13-15 Apr. Disc-1 [11]-[12], Disc-2 [7]-[11], 2010

Recording Location: Northern Alpine Culture Center, Toyama

Mixed and Mastered at EXTON Studio, Yokohama

Producer: Tomoyoshi Ezaki

Assistant Producer: Mamiko Takaya

Recording Director: Tomoyoshi Ezaki

Assistant Director: Mamiko Takaya

Balance Engineer & Editor: Tomoyoshi Ezaki

Piano Tuner: Yukio Koguro

Photographer: Yukio Kojima

A&R: Mamiko Takaya

Cover Design: Yusaku Fukuda





ベートーヴェン

LUDWIG VAN BEETHOVEN (1770-1827)

DISC 1

ピアノ・ソナタ 第16番 長調 作品31-1

Piano Sonata No.16 in G major Op.31-1

- | | | |
|---|---------------------|------|
| 1 | 1 Allegro Vivace | 5:58 |
| 2 | 2 Adagio Grazioso | 9:37 |
| 3 | 3 Rondo, Allegretto | 5:58 |

ピアノ・ソナタ 第17番 二短調 作品31-2「テンペスト」

Piano Sonata No.17 in D minor Op.31-2 "The Tempest"

- | | | |
|---|-------------------|------|
| 4 | 1 Largo - Allegro | 8:07 |
| 5 | 2 Adagio | 7:25 |
| 6 | 3 Allegretto | 6:04 |

ピアノ・ソナタ 第18番 変ホ長調 作品31-3「狩」

Piano Sonata No.18 in E-flat major Op.31-3 "Die Jagd"

- | | | |
|----|---------------------------------|------|
| 7 | 1 Allegro | 7:39 |
| 8 | 2 Scherzo, Allegretto vivace | 4:51 |
| 9 | 3 Menuetto, Moderato e grazioso | 3:50 |
| 10 | 4 Presto con fuoco | 4:20 |

ピアノ・ソナタ 第22番 長調 作品54

Piano Sonata No.22 in F major Op.54

- | | | |
|----|--------------------------|------|
| 11 | 1 In tempo d'un Menuetto | 4:53 |
| 12 | 2 Allegretto | 4:57 |

2010年1月13-15日、3月13-15日、4月13-15日

富山・北アルプス文化センターにて収録

Recording Date: 13-15 Jan., 13-15 Mar., 13-15 Apr., 2010

Recording Location: Northern Alpine Culture Center, Toyama

Mixed and Mastered at EXTON Studio, Yokohama

TOTAL TIME : DISC 1: 73:57 DISC 2: 79:50

©©2010  Octavia Records Inc.

Made by Octavia Records Inc., Japan. Unauthorized reproduction prohibited.

DISC 2

ピアノ・ソナタ 第21番 長調 作品53「ワルトシュタイン」

Piano Sonata No.21 in C major Op.53 "Waldstein"

- | | | |
|---|--|------|
| 1 | 1 Allegro con brio | 9:43 |
| 2 | 2 Introduzione, Adagio molto | 3:29 |
| 3 | 3 Rondo, Allegretto moderato - Prestissimo | 8:43 |

ピアノ・ソナタ 第23番 短調 作品57「熱情」

Piano Sonata No.23 in F minor Op.57 "Appassionata"

- | | | |
|---|-------------------------|------|
| 4 | 1 Allegro assai | 9:19 |
| 5 | 2 Andante con moto | 5:36 |
| 6 | 3 Allegro ma non troppo | 7:20 |

ピアノ・ソナタ 第24番 嬰へ長調 作品78「テレーゼ」

Piano Sonata No.24 in F-sharp major Op.78 "For Theresé"

- | | | |
|---|--|------|
| 7 | 1 Adagio cantabile - Allegro ma non troppo | 6:46 |
| 8 | 2 Allegro vivace | 2:46 |

ピアノ・ソナタ 第25番 長調 作品79「かっこう」

Piano Sonata No.25 in G major Op.79 "Cuckoo"

- | | | |
|----|-----------------------|------|
| 9 | 1 Presto alla tedesca | 4:26 |
| 10 | 2 Andante | 3:38 |
| 11 | 3 Vivace | 1:45 |

ピアノ・ソナタ 第26番 変ホ長調 作品81a「告別」

Piano Sonata No.26 in E-flat major Op.81a "Les Adieux"

- | | | |
|----|----------------------|------|
| 12 | 1 Adagio - Allegro | 6:57 |
| 13 | 2 Andante espressivo | 3:24 |
| 14 | 3 Vivacissimamente | 5:36 |

菊地 裕介 (ピアノ)

YUSUKE KIKUCHI (piano)



OVCT-00064

STEREO

[DDD]

DSD
RECORDING

このCDを、権利者の許諾なく貸
貸業に使用すること、ネットワーク
等を通じてこのCDに収録された
音を送信できる状態にすることを
禁じます。また、個人的に楽しむ
などの場合を除き、著作権法上、無
断複製は禁じられています。

10・7・22